

志小安全・防災だより



H30.5.14 NO.8
安全・防災担当：早坂 潤

大地震想定避難訓練が行われました！

9日（水）の避難訓練は、朝から小雨が降っていたために避難場所を昇降口前から体育館へと変更して行いました。地震発生放送が入ると、子どもたちは素早く机の下に潜り込み、机の脚をがっちりと両手で押さえ始めました。2回目の放送の指示が入ると、防災頭巾をかぶった子どもたちが真剣な表情で教室の後ろに整列し、「おさない」「走らない」「しゃべらない」をしっかりと守り、列を乱さないように互いに気を付けながら、体育館に避難しました。私は、本校の子どもたちの避難の様子は初めて目にしましたが、放送や担任の先生の指示をしっかりと聞き、避難するときの約束事をしっかりと守っている子どもたちを見て、大変嬉しく思いました。校長先生からも、話の聞き方、全員が安全に避難するまでの間にしゃべらずに待っていた姿を褒められ、これからは先生方がしっかりとみんなを守っているのだから慌てず、安心して避難することを話されました。また、消防署の三浦消防隊長さんも、一言もしゃべらずに避難ができ、先生方の言うことをしっかりと守っている訓練はあまり見たこともないと話されました。これから、地震の他にいろいろな自然災害がどこで、どのような形で起きるか分からない状況です。自分の命はしっかりと自分で守れるように、学校ではこれからも命の守り方を学ばせてい



体育館まで、「お」「は」「し」「も」をしっかりと守って素早く避難を行うことができました。

「くろしお少年消防クラブ」の結団式が行われ、吉田消防署長さんよりお話をいただきました。

3年生の皆さんは、総合的な学習の防災の勉強とのつながりで煙中体験を行いました。

毎日子どもたちへの温かい言葉掛けをありがとうございます！

くろしお見守り隊の方々、天候に関わらず毎日子どもたちの登下校を見守ってくださっております。この日は朝から雨が降っており、歩いて登校して来る子どもたちの表情も曇りがちに見えました。そのようなときに見守り隊の方々、「いつも丁寧に挨拶をしてくれてありがとうございます。」と声を掛け、子どもたちを横断させてくれます。その温かい言葉で、子どもたちの表情が

葉”のすばらしさにみんなで気付いていけるようにしていきたいです。

笑顔になり，明るい気持ちで学校の昇降口に向かって行きます。この“あつたか言